

国東市地域おこし協力隊

f <https://www.facebook.com/kunisakiohen>

国東協力隊通信

国東市役所 活力創生課

地域支援係 ☎0978-72-5175

<http://web.city.kunisaki.oita.jp/>



鶴川商店街の空き家にて



座学の様子



木材の知識



解体・撤去



湿気が上がらないようシートを敷く



セメントを練る



水平を見て束石を設置

家をつなぐ、人をつなぐ くにさき「つなぐ」プロジェクト

国東市 秋のDIY講座

9月19日、鶴川で第1回DIY講座が開催されました。10月10日と11月21日の全3回の工程で古民家の和室をフローリングにするという連続講座で、10名の募集に対し多くのご応募をいただきました。企画当初は空き家バンクで国東に移住された方を想定していましたが、長年住んだ自宅を直したいという地元の方にも参加していただき、幅広い年代が集まりました。第1回目は畳と床下を解体・撤去し、湿気が上がってこないようシートを敷き、束石を設置しました。

家の構造について資料を見ながら勉強した後は、実際に木材に触ってみながら、どちらが上かをみんなで考えました。その木材を家屋のどこにどう使うのか。木の性質を知って使うことで、快適で強度のある家が建てられます。西洋の石の文化に対して、日本は木の文化だと言われますが、日本人は古来より木の特性を生かして風土に合った家を造ってきたのだと感じました。

講師は今富正幸さん。床張りという技術を教えてしまうことによってご自分の仕事が減ってしまいそうですが、「国東市が新しいことに取り組むことで移住者が増えれば、自分たちにとってもプラスになる」と長期的な目線を持って講師を引き受けてくださいました。

表面的な技術を学ぶだけでなく、「家」とは何か、「暮らす」とはどういうことなのか、そして日本の風土や歴史について思いを馳せる1日になりました。講師の今富さん、ご参加くださった皆様、ありがとうございました。



11月21日(土) 移住者交流会 開催のお知らせ

18時30分~

毎年恒例となりつつある移住者交流会を今年も開催する運びとなりました。第2回目の昨年は約40名の方に参加いただき、「空き家バンク制度のあり方」や「空き家バンク以外の移住政策」についてグループで話し合いました。

今年は、市外からの「1泊2日体験ツアー」を企画しており、このツアーに参加されている移住希望者の方と、DIY講座参加者の地元の方も交えて開催致します。

どうぞ皆様お誘い合わせの上、ご参加くださいますよう宜しくお願い申し上げます。



昨年の様子

日時 2015年11月21日(土)18時30分~

場所 ホテルベイグランド国東

参加費 1,000円(食事・飲み物込)

申込締切 2015年11月9日(月)

申込問合せ 国東市役所 活力創生課☎0978-72-5175

↑ 市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。



平成27年度 第1回 ふるさと大分地域おこし協力隊連絡会議

去る10月2日(金)に竹田市総合社会福祉センターにて地域おこし協力隊連絡会議が行われました。大分県内の協力隊や市・県職員が約100名集まりました。まずは竹田市の地域おこし協力隊の活動状況説明があり、その後竹田市の地域おこし協力隊の活動拠点の視察がありました。活動拠点の中には地域おこし協力隊が主になって起こした、株式会社まおづくりたけたや交流館「集」等を見学してきました。竹田市の協力隊の人数は30名近くおり、協力隊はそれぞれ多様な活動を行っています。その中でも移住・定住促進の活動を行っている協力隊の宮崎君から話を聞きました。国東市にも空き家バンク制度もありますが、竹田市の空き家バンクの状況は少し違うようです。

まず協力隊は移住・定住の完全なるサポートを重視しています。また空き家バンクで空き家物件を見学に来た際は補助金が出るなど国東の空き家バンク制度との違いを知りました。問題点も少しはあるようですが大きなクレーム等もなく、移住・定住の活動が行われています。私たちも移住・定住の促進が出来る様に空き家バンク制度の運用の見直しや移住者と地元の人たちとスムーズに国東市で生活できるよう、お手伝いをしていけたらと考えております。今回私自身初めての協力隊の会議でしたが、参考になる部分もあり今後の活動に活かして行きたいと考えております。そして協力隊の一員として国東市全体の活性化に努めて行こうと思っております。



芸短パラダイムシフトアートプロジェクト



10月のアートフェスタに向け、芸術文化短期大学の学生さんたちが国見町野田のレジデンス施設「ノダシード」にて合宿をしました。

レジデンス2日目は、ペンキで花を描いた倉庫の壁面に、蛸壺の欠片を貼りつけるという作業。はじめて触るセメントは、説明書通りの分量で水を足しても壁にうまくつかず、みんなで四苦八苦でした。スマホ片手に検索しながら「もっと厚く塗らないと」「水を足してみよう」と工夫した結果、何とか無事に蛸壺がくっつきました。この後蛸壺にも絵を描き、立体的な壁面アートになるそうです。さらに、プリンターをリアルタイムで連動させて写真を印刷するというインタラクティブな作品も制作される予定。作品は10月13日に完成した後、11月1日まで公開中です。

10月1日まで **くにさきアートフェスタ 2015**
アートの畚の秋まつり

くにさきの新たな可能性としての文化・芸術によるまちづくりを推進するため、関係団体によるアートフェスタが国見エリア、各プロジェクト会場を中心に開催されています。芸術の秋、みなさまのお越しをお待ちしています。

問 くにさき芸術のまちづくり実行委員会事務局
(国東市活力創生課内) ☎0978-72-5175

お知り合いで 頻繁に利用されていない家を所有されている方へお願い

空き家バンクを利用して国東市へ移住され、地域の力になっている方が増えてきています。地域のためにも、空き家バンク制度の周知へのご協力をお願いします。詳しくは活力創生課空き家バンク担当まで ☎0978-72-5175

↑ 市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。
制作/国東市地域おこし協力隊